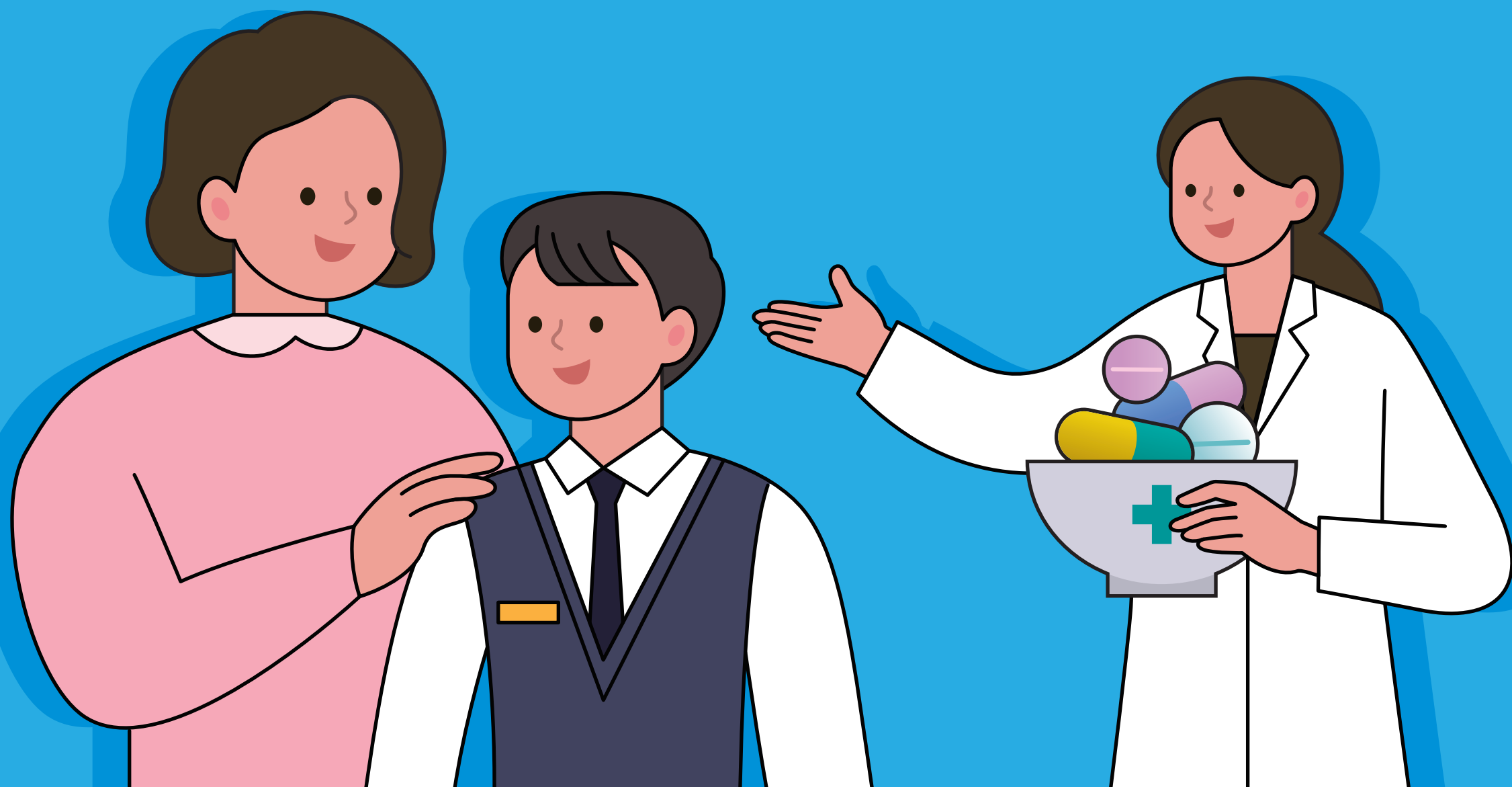


向精神薬、子どもを守る ためにこれだけは 必ず覚えておいてください



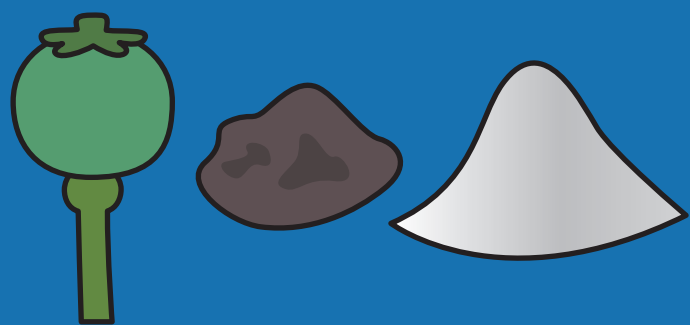
医療目的で使用する**向精神薬**は

なぜ危険薬物に分類されるのでしょうか。

- ✓ **向精神薬**は、医師の処方なしに勝手に誤用・乱用した場合、中枢神経に作用して身体に**深刻な危害**を及ぼすおそれがあります。
- ✓ そのため、医療目的で使用する向精神薬も薬物に指定し、管理を強化しています。

薬物の種類

① 麻薬



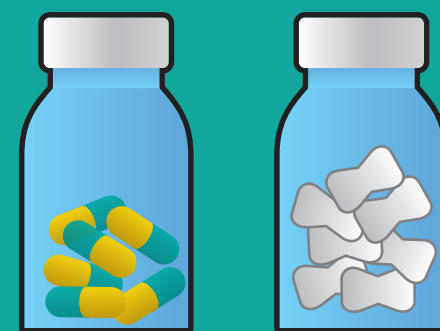
ケシ、アヘン、コカイン、
モルヒネ、ヘロイン、
フェンタニルなど

② 大麻



大麻と大麻から得られ
る樹脂、オイルなどを
すべて含む

③ 向精神薬



危険薬物のなかで種
類が最も多く、医療目
的で使用する医薬品
も多数含まれる

医療目的で使用する**向精神薬**には どんなものがありますか。

1 “眠り薬”と呼ばれる**「睡眠薬」**

- ：ゾルピデム (zolpidem)、トリアゾラム (triazolam) など
- ：成人の不眠症の治療に用いられます。短期間の使用に限定されています。
- ：18歳未満の子どもには処方できません。



2 “痩せ薬”と呼ばれる**「食欲抑制剤」**

- ：フェンテルミン (phentermine)、フェンジメトラジン (phendimetrazine) など
- ：16歳以下の子どもには処方できません。

3 “勉強ができるようになる薬”と 誤認識されている**「ADHD治療薬」**

- ：メチルフェニデート (methylphenidate) など
- ：ADHDの診断を受けていない人が服用しても改善効果がありません。



4 湿布のような麻薬**「フェンタニル貼付剤」**

- ：フェンタニル貼付剤 (Fentanyl)
- ：麻薬性鎮痛剤として使われ、末期がん患者など重度の痛みに対してのみ処方できます。
- ：18歳未満の子どもには処方できません。

向精神薬、

これだけは知っておきましょう。



- ✓ 向精神薬は、必ず医療機関で医師の処方を受けて指示通りに服用しましょう。処方された本人以外の方が服用してはなりません。
- ✓ 向精神薬は他の医薬品に比べて依存症になる危険性が高いため、本来の用途以外には使用してはなりません。

医療目的で使用する**向精神薬**は

正しく使用することが、依存症の危険を避ける方法となります。

✓ 子どもたちが薬物による被害を受けないよう、**家庭でも関心**を持って注意深く見守ってください。



相談・教育機関



✓ 韓国麻薬退治本部
:1899-0893

- 全国13地域の市・道支部で訪問や手紙、Eメール、電話による相談に対応しています。
- 医療機関との連携



子ども向けの薬物乱用防止教育資料



✓ 学生健康情報センター
: <https://schoolhealth.kr>



入院・外来治療および相談機関



✓ 地域社会内の治療・保護機関
✓ 中毒管理統合支援センター



薬物犯罪の通報

✓ 警察: 112
✓ 検察: 1301

※相談・教育・治療機関での相談において、個人情報 は 厳重に保護されます。

※本人だけでなく、家族や知人など、身近な方からの相談も受け付けています。